

11/30 12/14 村子ども会上毛かるた大会、郡子ども会上毛かるた大会  
上毛かるたで熱戦繰り広げる



多くの子どもたちが大会に参加(村大会)

村子ども会育成会連合会(林康明会長)主催による第50回上毛かるた大会が11月30日、東小学校体育館で開催されました。大会当日は、村内各地区の代表選手およそ300人が集まり熱戦が繰り広げられました。

また、この大会の優勝者は12月14日に片品村で開かれた郡大会に村代表選手として出場。小学生低学年の個人の部で倉澤暖さんが、また同団体の部の赤城高原育成会がともに優勝に輝きました。これら優勝チームは、2月15日に行われる県大会に出場します。

種目		優勝	準優勝	第三位
個人の部	小学生低学年	倉澤 暖	金崎 百花	南雲 陽葵
	小学生	鈴木 花音	石井 椋	谷川 雄飛
	中学生	加藤 みまり	笛木 葵生	吉澤 幸叶
団体の部	小学生低学年	赤城高原	椋 久保	中 野
	小学生	椋 久保 A	森下中組 A	吹 張・宿
	中学生	三 組	入 原	赤 城 原

昭和村上毛かるた大会結果(敬称略)



熱戦が繰り広げられた村大会



緊張感につつまれた郡大会

12/21 「清流の会」が門松づくり  
村内外28か所に見事な門松

NPO法人清流の会(今橋憲雄理事長)が門松づくりを行いました。この門松は、同会が「地域の人たちに健やかな年明けを迎えてもらおう」と、毎年ボランティア作業で制作しており、今年で15年目。この日はおよそ20人の会員が参加しました。今橋理事長は「会員の皆さんが積極的に集まり、互助・和合の精神を大切に協力して門松を作りました」と話していました。

完成した門松は、役場などの公共施設をはじめ村内外28か所で飾られ、装い新たに新年を迎えました。



門松作りを行う「清流の会」の皆さん

12/10 昭和中学校特別授業  
1年生が福祉を考える授業

昭和中学校で12月10日、1年生を対象に「福祉について考える授業」が行われました。これは、中学生にも福祉について考えてもらおうと、村地域包括支援センターと村社会福祉協議会が企画したもの。

生徒たちは、まず、認知症サポーター養成講座で、認知症の症状や認知症の人との接し方を、職員による寸劇などを楽しみながら受講。また、車イス利用者が困っていたら私たちに何ができるかをテーマに、グループに分かれ話し合い発表しました。



車イスにも触れながら学ぶ生徒たち



## 12/6 県道の竹など伐採 石坂建設が地域貢献で道路の安全確保

役場近くの糸井河原の県道で、重みで垂れ下がり歩行者などの通行の妨げとなっていた竹の伐採や大木の手入れを、石坂建設(諸田光二社長)が地域貢献として無償で行っていただきました。



作業により見通しもよくなった糸井・今成歯科医院前の県道

## 12/11 生涯骨太クッキング(料理教室) ヘルスマイトさんのサポートで調理

「健康的な骨を維持」するためのエクササイズと牛乳・乳製品を豊富に使った料理作りが保健センターで行われました。参加者は、ヘルスマイトの皆さんのサポートを受け、料理作りを楽しんでいました。



熱心に調理する参加者とヘルスマイトの皆さん

## 12/26 消防団歳末特別警戒 火の元に注意して安心な年越しを

昭和村消防団は、歳末の繁忙期を迎え火災等を予防するため歳末特別警戒を実施しました。警戒の初日となった12月26日、堤村長や村消防委員らが全分団の詰所を訪問。警戒にあたっている団員を激励しました。



堤村長の激励を受ける団員(第7分団)

## 10/1 優良道路愛護団体表彰 滝久保道路愛護会が受賞

滝久保道路愛護会(滝久保区、今橋憲雄区長)が毎年実施している道路愛護活動が、長年にわたる環境美化への意義ある取り組みとして評価され、県から平成31年度優良道路愛護団体表彰式で感謝状を贈られました。



感謝状を贈られる今橋区長

## 12/10 関工務所と清和会が村に寄贈 特製の木製ベンチを活用して

(株)関工務所の関真一代表と清和会の鈴木忠志会長(ともに川場村)が来村し、木製ベンチ11台を寄贈されました。このベンチは毎年、同社が製作し村に寄贈いただいているもの。ご厚意ありがとうございます。



副村長へ目録を渡す鈴木会長(中央)と関代表取締役

## 12/14 村内3保育園で発表会 園児が練習の成果披露

村内3保育園で生活発表会が行われました。園児たちは日頃練習してきた歌やおゆうぎ、合奏などを堂々と発表しました。各園を訪れた大勢の保護者などからは、大きな拍手が送られていました。



練習の成果を堂々と披露する園児(子育て保育園)